

平成27年度 基盤研究（S） 審査結果の所見

研究課題名	骨格筋を中心とする臓器間ネットワークによる老化調節機構解明と画期的抗加齢療法開発
研究代表者	植木 浩二郎（東京大学・大学院医学系研究科・特任教授）
研究期間	平成27年度～平成31年度
審査結果の所見	<p>サルコペニアは高齢化社会における医学上の重要な課題である。応募者は骨格筋特異的 Akt ノックアウトマウスがヒトのサルコペニアと近似した表現型を示すことを見だし、このマウスを手掛かりにサルコペニアの分子機構、更には治療法の開発を目指している。応募者は、本研究に密接に関連するインスリンシグナルと骨格筋の研究において、極めて質の高い研究成果を上げており、本研究でも十分な研究成果が期待される。一方、臨床への展開については患者集積から始めなければならないなど難渋も予想されるが、本研究を端緒として診断法や治療法の開発が進むことを期待したい。</p> <p>以上の理由により、基盤研究（S）として採択すべき課題であると判断した。</p>